

## 資料 1. 研究協力依頼文（施設用）

看護部長 様

### 調査協力をお願い

拝啓 新涼の候、貴院におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、看護を取り巻く環境の変化をうけ、看護基礎教育に対する期待は大きく、さらに学生のアセスメント力、判断力、看護実践力の向上は喫緊の課題となっております。当校では、夜勤実習を含む統合実習の実施、卒業までに看護技術 139 項目の習得、さらに看護技術は静脈注射を含む 5 つの看護技術試験を実施しており、卒業後のアセスメント力、判断力、看護実践力について調査したいと考えております。

つきましては、卒業生を含む看護師の皆様を対象に看護師の専門職的自律について測定し、自己認識の実態を明らかにしたいと考えております。また、教育内容の要望についてもお聞きし、基礎看護教育に反映させたいと考え質問紙による調査研究を計画致しました。

なお、質問紙は無記名であり、データは統計的に処理され施設、個人が特定されることはありません。また、調査は貴院のケア評価につながるものではございません。

そこで貴院の看護師経験年数 6 年目以下の看護職の皆様にご協力賜りたく、無記名自記式質問紙を添付いたしますので、ご検討お願い申し上げます。調査協力のご意向については、8 月 31 日までに承諾書の可否および看護職員数のご返送をお願いいたします。調査にご協力頂ける場合は、後日質問紙を必要部数お送り致します。また調査報告書をご希望の場合は、ご協力頂ける施設に郵送させていただきます。

敬具

研究実施者：北海道医療センター附属札幌看護学校  
水野智美(代表者)、  
千田和美、坂本美和子、鈴木佳子  
(連絡先) 札幌市西区山の手 4 条 6 丁目 2 番値  
電話 011-611-8170  
E-Mail t.mizuno@satsukan.ac.jp

## 研究協力施設承諾書

平成 年 月 日

(

水野 智美 が 本施設において 「看護師の専門職的自律性の実態」の研究に関わるデータ収集及び分析などを行うことについて以下の通り回答いたします(該当箇所には○をお願いいたします)。

(

・承諾します 対象者数(看護師経験 6 年目以下の看護師) \_\_\_\_\_人

・承諾しません

施設名 \_\_\_\_\_

施設代表者又は受入責任者 \_\_\_\_\_

看護部門の責任者 様

## 質問紙配布のお願い

拝啓 仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

この度は本調査への協力にご賛同いただきまして、誠にありがとうございます。

つきましては、先日の調査協力のお願いに返答いただきました貴院の6年目以下の看護師数に応じた質問紙と、返信用封筒を同封しましたので、看護師の皆様へ一部ずつ配布していただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

## －質問紙調査の概要－

1. 調査目的：国立病院機構の看護師経験6年目までの看護職員の、専門職的自律性を明らかにする。
2. 調査対象：看護師経験6年以下の看護師
3. 調査内容：①アセスメント力、判断力、看護実践力に関する自己の認識  
②看護基礎教育に関する要望
4. 調査協力について：
  - ・本調査への協力は自由意志によるものであり強制するものではありません。
  - ・本調査は無記名でありデータは統計的に処理され施設、個人が特定されることはありません。
  - ・本調査は貴院のケア評価につながるものではありません。
  - ・得られたデータは研究目的以外には使用いたしません。以上のことをお約束致します。  
なお、本調査結果は関連学会、学校評価などで発表させていただくことをご了承下さい。
5. 回答形式：質問紙は全3ページで、回答には約15分を要します。  
回答形式は選択式で一部は記入式です。
6. 返送方法：対象者の皆様には、10月10日までにご回答し、同封致しました個別封筒に切れ厳封し、提出いただけるようお願いしております。回収した後は、同封いたしました着払い伝票を貼付し、ご返送をお願い申し上げます。なお期日が過ぎた場合でもご返送いただけると幸いです。  
ご多忙の中、大変恐縮ではございますが、ご協力のほど何卒宜しくお願い致します。  
何かご不明な点がございましたら、以下の研究者宛にご連絡下さい。

研究実施者：北海道医療センター附属札幌看護学校  
水野智美(代表者)、  
千田和美、坂本美和子、鈴木佳子  
(連絡先) 札幌市西区山の手4条6丁目2番値  
電話 011-611-8170  
E-Mail t.mizuno@satsukan.ac.jp

## 調査へのご協力をお願い

拝啓 仲秋の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

さて、看護を取り巻く環境の変化をうけ、看護師のアセスメント力、判断力、看護実践力の向上は喫緊の課題となっております。

当校では、夜勤実習を含む統合実習の実施、卒業までに看護技術 139 項目の習得、さらに看護技術は静脈注射を含む 5 つの看護技術試験を実施しております。そこで平成 28 年度卒業時の皆様の専門職的自律性について調査し、自己認識の実態を明らかにしたいと考えております。また、教育内容の要望についてもお聞きし、基礎看護教育に反映させたいと考え質問紙による調査研究を計画致しました。

なお、質問紙は無記名であり、データは統計的に処理され施設、個人が特定されることはございません。ご協力いただける場合は玄関ホールに設置した回答ボックスに投函をお願いいたします。質問紙の投函をもって研究に対するご協力の承諾を得たものとさせていただきますことをご了承下さい。更に約半年後に同様の調査が看護師経験 6 年目以下の国立病院機構看護職員対象に行われますので、その際も合わせてご協力いただけますようお願いいたします。

敬具

1. 調査目的：平成 28 年度卒業生 82 名及び国立病院機構の看護師経験 6 年目までの看護職員の、専門職的自律性を明らかにする。

2. 調査対象：平成 28 年度卒業生 82 名、国立病院機構の看護師経験 6 年目までの看護職員

3. 調査内容：①アセスメント力、判断力、看護実践力に関する自己の認識  
②看護基礎教育に関する要望

4. 調査協力について：

- ・本調査への協力は自由意志によるものであり強制するものではありません。
- ・本調査は無記名でありデータは統計的に処理され施設、個人が特定されることはございません。
- ・本調査は貴院のケア評価につながるものではありません。
- ・得られたデータは研究目的以外には使用いたしません。

以上のことをお約束致します。

（なお、本調査結果は関連学会、学校評価などで発表させていただくことをご了承下さい。

5. 回答形式：質問紙は全 3 ページで、回答には約 15 分を要します。

回答形式は選択式で一部は記入式です。

6. 回答方法：ご回答いただきましたら個別封筒を厳封し玄関ホールに設置した回答ボックスに投函をお願いいたします。

なお、この研究の研究責任者と研究分担者は、利益相反に関して本院の倫理審査委員会の審査を受けており、関連する企業や団体などと研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことが確認されております。

何かご不明な点がございましたら、以下の研究者宛にお知らせ下さい。

研究実施者：北海道医療センター附属札幌看護学校

水野智美(代表者)、

千田和美、坂本美和子、鈴木佳子

(連絡先) 札幌市西区山の手 4 条 6 丁目 2 番値

電話 011-611-8170

E-Mail t.mizuno@satsukan.ac.jp

## 調査へのご協力のお願い

拝啓 仲秋の候、貴院におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、看護を取り巻く環境の変化をうけ、看護基礎教育に対する期待は大きく、さらに学生のアセスメント力、判断力、看護実践力の向上は喫緊の課題となっております。そこで看護基礎教育卒業後のアセスメント力、判断力、看護実践力について調査したいと考えております。

つきましては、看護職の皆様を対象に看護師の専門職的自律性について調査し、自己認識の実態を明らかにしたいと考えております。また、教育内容の要望についてもお聞きし、基礎看護教育に反映させたいと考え質問紙による調査研究を計画致しました。

なお、質問紙は無記名であり、データは統計的に処理され施設、個人が特定されることはございません。ご協力いただける場合は玄関ホールの回答ボックスに投函いただけますようお願いいたします。回答を頂いた質問紙の投函をもって研究に対するご協力の承諾を得たものとさせていただきますことをご了承下さい。 草々

1. 調査目的：国立病院機構の看護師経験 6 年目までの看護職員の、専門職的自律性を明らかにする。
2. 調査対象：国立病院機構の看護師経験 6 年目までの看護職員
3. 調査内容：①アセスメント力、判断力、看護実践力に関する自己の認識  
②看護基礎教育に関する要望

#### 4. 調査協力について：

- ・本調査への協力は自由意志によるものであり強制するものではありません。
- ・本調査は無記名でありデータは統計的に処理され施設、個人が特定されることはございません。
- ・本調査は貴院のケア評価につながるものではありません。
- ・得られたデータは研究目的以外には使用いたしません。

以上のことをお約束致します。

なお、本調査結果は関連学会、学校評価などで発表させていただくことをご了承下さい。

5. 回答形式：質問紙は全 3 ページで、回答には約 15 分を要します。

回答形式は選択式で一部は記入式です。

6. 回答方法：ご回答いただけましたら個別封筒にいれ厳封し、指定の回収箱まで提出をお願いいたします。

なお、この研究の研究責任者と研究分担者は、利益相反に関して本院の倫理審査委員会の審査を受けており、関連する企業や団体などと研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことが確認されております。

何かご不明な点がありましたら、以下の研究者宛にお知らせ下さい。

研究実施者：北海道医療センター附属札幌看護学校  
水野智美(代表者)、  
千田和美、坂本美和子、鈴木佳子  
(連絡先) 札幌市西区山の手 4 条 6 丁目 2 番値  
電話 011-611-8170  
E-Mail t.mizuno@satsukan.ac.jp

### 看護師の皆様へのご質問

#### アンケートの記入方法

選択式では、該当する番号一つに○をつけてください。

下線\_\_\_では数字を、( )内には文字を記入してください。

なお一箇所、自由記載があります。

皆様の貴重なご回答、ご意見を反映させて頂きたく、

記載漏れがないよう、ご協力お願い申し上げます。

10月10日までに、専用の返信用封筒にいれ看護部が指定している投函箱に入れてください

研究実施者：北海道医療センター附属札幌看護学校 水野智美

I. 次の項目について、あなたの考えを  
右欄のあてはまると思う番号に○印をつけて下さい。

	そ う 思 う り	か な 思 う は	少 し 思 う は	言 え な い も	ど ち ら と も	思 わ な い う	あ ま り そ う	思 わ な い う	全 く そ う
1. 私は治療が患者に及ぼす心理的影響を予測することができる	5		4		3		2		1
2. 私は患者に将来起こるであろう危機を予測することができる	5		4		3		2		1
3. 私は治療が患者に及ぼす身体的影響を予測することができる	5		4		3		2		1
4. 私は患者が内心抱いている不安を状況から推測することができる	5		4		3		2		1
5. 私は患者の価値観を十分に理解することができる	5		4		3		2		1
6. 私は患者の言動から性格や生活習慣を読み取ることができる	5		4		3		2		1
7. 私は患者の心理的問題を患者から直接聞き出すことができる	5		4		3		2		1 ○
8. 私はこれまでの経過から患者の今後の行動を予測することができる	5		4		3		2		1
9. 私は患者のニーズにすぐに気づくことができる	5		4		3		2		1
10. 私は患者の言動と感情の不一致を理解することができる	5		4		3		2		1
11. 私は患者の言動に共感的理解を示すことができる	5		4		3		2		1
12. 私は患者の意識レベルの変化を正確に把握することができる	5		4		3		2		1
13. 私は患者の検査結果と症状との関連を理解することができる	5		4		3		2		1
14. 私は看護に必要な情報をすぐに集めることができる	5		4		3		2		1
15. 私は緊急時にも落ち着いて看護を行うことができる	5		4		3		2		1 ○
16. 私は患者の急激な生理的変化（吐血、意識喪失など）に対応することができる	5		4		3		2		1
17. 私は手際よく看護ができる	5		4		3		2		1
18. 私は患者が落ち着いて看護を受けられるよう常に配慮ができる	5		4		3		2		1
19. 私は患者の突然の求めにも躊躇せずに応じることができる	5		4		3		2		1
20. 私は患者の社会生活に配慮した看護ができる	5		4		3		2		1
21. 私は他職種（栄養士、理学療法士など）と連携を上手に取ることができる	5		4		3		2		1
22. 私は看護の優先順位を立てて計画的に1日を過ごすことができる	5		4		3		2		1

23. 私は患者の個別性を考慮した看護を実施することができる	5	4	3	2	1
24. 私は看護の際に必要な物品を過不足なく準備できる	5	4	3	2	1
25. 私は患者の情動の変化（怒り、悲しみなど）に対処することができる	5	4	3	2	1
26. 私は患者の医療に対する不信感や不安を十分な説明を行うことにより和らげられる	5	4	3	2	1
27. 私は看護を常に創意工夫することができる	5	4	3	2	1
28. 私は患者の社会的適応を促進するための指導ができる	5	4	3	2	1
29. 私は患者の多くの情報から必要な看護を選択することができる	5	4	3	2	1
30. 私は患者の心理的变化（不安、怒り、焦りなど）に応じて看護方法を変更できる	5	4	3	2	1
31. 私は患者のニーズに一致した看護を選択することができる	5	4	3	2	1
32. 私は突然の患者の生理的变化（血圧低下、悪寒など）に応じて看護方法を変更できる	5	4	3	2	1
33. 私は患者の多くの問題の中から最も優先すべき問題を選択できる	5	4	3	2	1
34. 私は看護方法を自分一人で選択できる	5	4	3	2	1
35. 私はカンファレンスで患者の問題を主体的に提供することができる	5	4	3	2	1
36. 私は看護モデルを用いて看護方法を決定することができる	5	4	3	2	1
37. 私は看護研究の結果など最新の情報を活用し看護を決定できる	5	4	3	2	1
38. 私は将来起こるであろう問題に向けて看護方法を選択できる	5	4	3	2	1
39. 私は患者の変化（結果）を予想して看護を選択することができる	5	4	3	2	1
40. 私は十分な情報がなくても現在の状況から適切な看護を推測できる	5	4	3	2	1
41. 私が立案した看護計画はいつもスタッフの承認が得られる	5	4	3	2	1
42. 私は患者の症状や検査結果を総合して適切な看護方法を選択できる	5	4	3	2	1
43. 私は患者が心情を表現してこないと精神的援助を計画できない	5	4	3	2	1
44. 私は患者の言動に惑わされて適切な看護方法を選択できない	5	4	3	2	1
45. 私は他者の助言を受けなければ看護方法を選択することができない	5	4	3	2	1
46. 私は患者の意志を尊重せずに看護方法を選択してしまう	5	4	3	2	1
47. 私は患者の訴えがないと何を看護すべきかわからない	5	4	3	2	1



## Ⅱ. 看護基礎教育において

もっと学びたかった内容は何でしょうか。ご自由にお書き下さい。

## Ⅲ. あなたのことについてお伺いします。下線部分に数字または、該当する数字に○をつけてください。

問1. あなたの経験年数は何年ですか。

a. 看護経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

b. 現所属部署看護経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

問2. あなたの職位は次のどれですか。

1. スタッフ      2. 副看護師長

問3. 所属している職場は次のどれですか。

1. 看護部、診療部、研修部      2. 内科系病棟      3. 外科系病棟・ICU  
4. 外来      5. 精神科病棟      6. 手術室      7. 重症心身障害児(者)病棟  
8. その他(\_\_\_\_\_)

問4. あなたの看護学における専門学歴についてすべて○をつけてください(複数回答)。  
卒業または在学中については該当場所に○をつけてください。

1. 専門学校(二年課程)  
2. 北海道内の 国立病院機構の専門学校(三年課程)  
3. 北海道以外の 国立病院機構の専門学校(三年課程)  
4. 国立病院機構以外の専門学校(三年課程)  
5. 短期大学  
7. 大 学 ( 卒 業 ・ 在 学 中 )  
8. 大学院修士課程 ( 卒 業 ・ 在 学 中 )  
9. 大学院博士課程 ( 卒 業 ・ 在 学 中 )

ご協力ありがとうございました。